

第3回 東海村地域公共交通会議 議事メモ(公表用)

【日 時】 平成26年11月10日(月) 15時～

【場 所】 東海村役場 101 会議室

【出席者】 (委 員) 出席 15 名／欠席 6 名

1. 開会(まちづくり推進課)

2. あいさつ

(会長)

- ・ これまで2回の会議を開催し、公共交通を必要としている方を対象としたアンケート調査の報告やその結果を受けての路線バス整備の検討をいただいたということで、いよいよ前に進んできたという感じを持っている。それも皆様方から忌憚のないご意見をいただいて検討してきた結果であり、村民の方々から喜ばれる公共交通になって欲しいと思っている。先日、ある自治体の関係者と懇談した際に、タクシー券などでの支援を実施していると聞いた。また、他の自治体では買い物難民支援ということで取り組んでいるが、バスを運行するようなプロジェクトは難しいので、トラックで地域をまわり配達することで支援しているという話を聞いてきた。
- ・ ぜひ東海村での取り組みが成功するよう、本日も忌憚のないご意見をいただき、議事にご協力をいただきたい。

(課長)

- ・ 先日、JR常磐線が東京駅に乗り入れるという報道があったが、東海村にも特急の停車など直接的に関わってくるものと考えている。公共交通という側面から、JR・バス・タクシーといった数ある選択肢をうまく組み合わせようと取り組んでおり、本日は路線バスの案について説明をいただき、皆様方からご意見をいただきたいと思っているのでよろしくお願いいたします。

3. 協議事項

(1)新たな公共交通の運行ルート・ダイヤ(案)について

【運行ルート案／運行ダイヤ案】をスライド投影し、茨城交通(株)から説明

〈質疑〉

(委員)

- ・ せっかくの路線を活かすためには住民に対する十分な周知活動が重要である。

(まちづくり推進課)

- ・ 本日はアンケート結果に基づき、この5ルートの運行ではどうかという最初の提案をいただいた。このルートがどうなのかという協議をする訳だが、全て運行すると決まっているわけではないので、その点はご理解いただきたい。
- ・ 来年の3月からの運行を目指して検討を進める中で、事前周知は十分に行っていきたい。

(委員)

- ・ デマンドタクシーを導入した際にも関係者などを通してPRをした経緯があり、今回も十分に行ってもら

いたい。

（まちづくり推進課）

- ・ 公共交通を必要としている住民ということでデマンドタクシーを利用している方へのPR, また通勤通学時間帯の運行にあたり, 学生や事業所へも積極的に働きかけていきたい。
- ・ 運行本数等については, 当然予算も関係してくる。たくさんの方に利用してもらえれば黒字化も可能であり, より多くの路線確保も可能となるのではないかと考えている。

（委員）

- ・ 今後の進め方として, 提案のあった5路線だけを検討するのか, それとは別にこの会議の中でも検討していくのか, どのように考えているのか。

（まちづくり推進課）

- ・ 既存路線も含めて, 住民の方々が利用するということになれば, “路線を増やす”, “ダイヤを変更する”など, 充実させることができる。この路線で全て決まりという訳ではないと考えている。

（委員）

- ・ 既存の路線の収支はどうなっているのか。

（茨城交通）

- ・ 正直言って厳しい。

（委員）

- ・ その路線に村の補助は入っているのか。

（まちづくり推進課）

- ・ 村は支援していない。

（委員）

- ・ 朝夕に関しては, 企業の通勤・退勤に利用してもらいたいとのことだが, 企業から負担金をもらうような考えもあるのか。

（まちづくり推進課）

- ・ 企業からの負担金という考え方ではなく, 乗車してもらって運賃収入を上げていくことに力を入れたい。そういった意味で, 大きな事業所には引き続き働きかけていきたい。

（委員）

- ・ 皆さんに知ってもらって利用してもらうことが重要である。実証実験では, 長い時間をかけて周知するのでは効果がなく, 1・2ヶ月でやれることはやりつくすという考え方が重要である。

（茨城交通）

- ・ 最近の面白い取り組みとして, 高齢者で, バスが走っていることは知っているが乗り方がわからないという方が結構多い。今後の相談ではあるが, 自治会単位や高齢者の集まりなどに実際のバスを使って乗り方を知る機会を提供することも効果が大きいのではないかと考えている。

（委員）

- ・ 最近のバスはステップの高さなどはどうなっているのか。

（茨城交通）

- ・ フラットな車両も導入しているが, 全体の2割程度である。車両も循環して利用しており, その日その日で変わってしまうのが現状である。

（委員）

- ・ 運賃に関してはどのように考えているのか。

(まちづくり推進課)

- ・ 課金制なのか、同一賃金制なのかについては、これから検討する必要があると考えているが、デマンドタクシーからバス、またはバスからデマンドタクシーに乗り継ぎやすい支援策は考えたい。アンケート結果では片道 500 円までならという結果が出ている。

(委員)

- ・ 運賃についても運行開始のPRと同時にやっていく必要があるので、検討を進めて欲しい。

(茨城交通)

- ・ 申請する段階では運賃も決めていなければならないので、事務局等との打ち合わせが必要である。

(会長)

- ・ ダイヤも含めて路線の案が提示されているが、とりあえずこの方向性で検討を進めるということでもいいか。

(まちづくり推進課)

- ・ 先ほど説明したように運行経費との関係もあるので、本日はこの 5 ルートで検討を進めていいと決めていただければ、この案を基本として更に検討を進めていきたい。運賃や乗り継ぎ支援などをまとめて次の会議に再度諮りたい。

(会長)

- ・ 本日は、アンケート結果から提案されたこの 5 ルートを基本に進めるということはこの会議で承認し、運賃等の詳細を事務局と茨城交通で詰めた上で次回また協議するというでもいいか。

(委員)

- ・ ルートが見えてきているので沿線自治会との話し合いなどを先行して進めていくことも選択肢であると思うが事務局ではどのように考えているのか。

(まちづくり推進課)

- ・ 回目の会議で詳細な計画を説明することになるが、申請との関係もあるので、年内の広報活動は難しいと考えている。年明けから説明を始めるイメージを持っている。必要に応じて、3 月に開催される各自自治会の集まりに出向いて説明するが、全住民に対しての周知は広報誌やチラシなどを通して行うことになる。

(茨城交通)

- ・ 運行開始後の取り組みとなるが、小学校などで実際のバスを使ってバスの乗り方教室開催なども可能であり、東海村でも実施していきたい。

(委員)

- ・ 利用者は高齢者が中心となることから、高齢者クラブなどでもPRした方がよい。

(会長)

- ・ PRについては、様々な団体の集まりなどで積極的に行ってもらいたい。
 - ・ それでは、この 5 路線のルート、バス停、ダイヤを基本に更に検討を進めるということでもいいか。
- ⇒了承

(2)今後のスケジュールについて

- ・ まちづくり推進課から、下記資料に基づき、今後の進め方について説明。
資料2 地域公共交通のあり方検討事業 今後のスケジュールについて

〈質疑〉

(会長)

- ・ 皆さんから特に質疑がなければ、次回 12 月 15 日開催ということでお願いしたい。

(3)その他

特になし

6. 閉会(まちづくり推進課)

- ・ ご協議ありがとうございました。次回会議もよろしくお願いいたします。